

社会福祉法人 ミッドナイトミッションのぞみ会
理事長 木下 宣世 様



2020 (令和2) 年6月9日

監事

南 純



監事

定達 裕昭



2019 (令和元) 年度 監事監査報告

監査実施日 2020 (令和2) 年5月15日 (金) 14:00~17:30
2020 (令和2) 年5月19日 (火) 14:00~18:00
監査実施場所 介護予防センター
望みの門紫苑荘 多目的ルーム
対象施設 法人本部及び法人内全施設

監査事項

1 法人本部関係

- (1) 決算書、総勘定元帳、補助簿、その他関係書類
- (2) 定款、諸規程の整備状況
- (3) 人事、労務関係
- (4) 県の指導監査状況
- (5) 理事会関係
- (6) 事業報告書

上記を監事監査点検表の項目に従い確認しました。

2 各施設関係

- (1) 決算書、総勘定元帳、補助簿、その他関係書類
- (2) 事業報告書に基づく事業運営、利用者の状況、職員の人事等
上記(1)を監事監査点検表の項目に従い確認しました。
上記(2)を施設長からのヒアリングを中心に確認しました。

監査結果

上記監査事項について、2019（令和元）年度の法人、各施設及び事業の運営状況ならびに財産状況を監査した結果、いずれも適正であった。

なお、特筆すべき点や気付いた点については次に記すので、今後の運営において留意または修正を要する事項については適切に対応されたい。

1 運営全般

社会福祉法人ミッドサイトミッションのぞみ会は2016年度に千葉県初の情緒障害児短期療育施設（児童心理治療施設）「望みの門木下記念学園」を設立し、2018年度から専任の医務監も着任し、更に2019年度からはクリニック（診療所）も併設していよいよその体制を整えつつあることは喜ばしい。さらに2019年度から望みの門学園の移転新築工事に着工し、2020年度内の完成を目指している。のぞみ会は2022年に創立60周年を迎えるが、いよいよ千葉県下でも有数の統合的福祉事業体として、その重責を担っている職員各位のご労苦に深く感銘を覚えます。

さて、今回は2019年度の報告を伺ったが、各事業部のご努力に深い敬意を表すると共に、さらにその発展を期して、以下に今後の課題を指摘しておきたい。

- (1) 法人は2022年に創立60周年を迎えるが、この事業を更に維持発展させるために、ハード面ではすでに着手されている望みの門学園の新築工事ははじめとして、今後も老朽化した施設建物の改修・補強・改築などに組み込まざるを得ないであろう。そのためには、前回は指摘したことであるが、資金面を含めて長期的段階的な展望に立った対策を講ずる必要があると思われる。
- (2) ソフト面では、法人全体の職員数が300名を超え、その利用者もすでに400名を超えて、施設も東京・富津・上総湊の三地区に分散している。そこで、クリスマスやバザーや地域交流スポーツ大会などを通して交流や意志の疎通を図ると共に、職員全体が法人の創立精神であるキリストの愛と奉仕の精神を継承しつつ、一層の研鑽と資質向上に努め、それぞれの役割と要望に添えていく必要があると思われる。
すでに試みられている諸点を着実に実行し、一層の充実を図っていただきたい。
- (3) 各施設において、新型コロナウイルスの流行する中で、職員の連携・努力によって万全の対策がとられ、利用者の安心と安全が守られていることは感謝であるが、なお一層の向上と万全を目指して、防災に備えて諸種の訓練や設備の点検を実施すると共に、食中毒や集団感染の防止に努めていただきたい。
- (4) 富津市金谷所在の土地建物について利用方法を早急に検討していただきたい。
- (5) 千葉県の施設等指導監査の指摘事項でもありますように、理事会への出席を励行されることを望みます。

2 経理関係

理事会及び評議委員会には出席し、要決議事項について審議し、議決されて法人運営が行なわれていることを確認しています。

- (1) TKCFX4クラウド社会福祉法人用会計システムを導入し、各拠点毎の入力により、より効率的な会計処理が図られていることが伺えます。
- (2) 原始記録としての各拠点毎の金銭出納帳は手書きであり、現金有高金種別残高表に、ほぼ毎日正しく記載されていることを確認しました。領収書等の証憑書類は仕訳伝票の裏面に添付す

る方式、保管も変わっていません。

- (3) 各銀行の預金残高証明書および貸付金残高証明書の原票により預金残高および借入金残高を確認しました。各拠点毎の「預金等一覧表」および「預金調整表」により残高証明書とも突合いたしました。
- (4) バザー用口座名義の預金残金757,806円は帳簿外預金となっています。
預金残高証明書にも記載されていますので、バザー委員会又は後援会口座とするか法人名義から切り離して頂くことを検討してください。法人主催とした場合には売上金額が消費税の課税売上該当すると認定される可能性があります。
- (5) 寄付金台帳及び寄付金の授受は受取控えにより確認しました。金銭以外の献品も7割の評価を備考欄に記載し、会計処理も正しく計上されていることを確認しました。

3 各施設関係

- (1) 東京望みの門は、宿泊所としての緊急一時保護やペット連れの入所者にも良く対応しており、マナの家では20歳過ぎの利用者をも受け入れ自立支援の貴重な役割を果たしていることが窺われる。なお、職員が高齢化する中で、若い職員の発掘と育成とに努めていただきたい。
- (2) 望みの門学園は、当法人最初の福祉施設として象徴的な役割を担ってきているが、このたび老朽化した施設の移転新築工事もいよいよ始まり、その活用が期待される。利用者の就労支援の強化と利用者間のトラブルの防止とに努めていただきたい。
- (3) 養護老人ホーム望みの門楽生園の稼働率は大きく改善し維持されていることは評価されるが、引き続き新規利用者の発掘に努めていただきたい。また、種々の感染症防止や災害時の対策にも万全の注意を払い、職員と利用者間の意志の疎通を図っていただきたい。
- (4) 特別養護老人ホーム紫苑荘と富士見の里については、それぞれ高い利用率を保持しているが、利用者の高齢化と介護度アップが進んでいる中で、これらに対応するために新規職員の採用と共に職員間の連携強化やそのスキルアップにも努めていただきたい。なお、引き続き諸種の感染症には万全を期していただきたい。
- (5) 児童福祉施設関係の方舟乳児園とかずさの里については、それぞれ全体的には県の委託に良く応えて成果を発揮していると思われる。なお、乳児園の場合乳児の長期滞在化が進む中で2ユニット化によるきめ細かな対応は評価されるが、職員の員数確保にも努めていただきたい。
また、かずさの里の場合は知的障害児や被虐待児が増える中で、新型コロナウイルス感染防止のため休校となった子供たちを抱え、職員が一層の連携強化によってこの難局に対処しつつあることは評価されよう。
- (6) 児童心理治療施設木下記念学園は創立4年目に入り、クリニックも併設されたことによって、職員にも児童にも次第に安定した関係が築かれてきていると思われる。なお、職員の研修と連携に努め、待機児童の受け皿になっていただきたい。また、児童家庭支援センター・ピーターパンの家と臨床心理室の活動も上総地域における貴重な働きとして富津市役所内に相談室を持つまでになっている点は評価されよう。
- (7) 障害福祉部に属する就労継続支援事業新生舎は、創立20周年を迎えてこの地域に定着しつつあるが、利用者たちはそれぞれ園芸畑作・機織り・製パン製菓の三部門に分かれ自立に向けてその活動を続けており、新型コロナウイルス感染予防のため通所不能の中でもきめ細かい連絡を重ねて再開に備えている点は評価されよう。また共同生活援助事業グレースホーム、地域活動支援ヨカデイサービスセンター、および障害者相談支援事業ベテルの活動もそれぞれの役割

を果たしているが、やはり利用者が高齢化する中で、引き続き新生舎やグレースホーム以外の外部からの登録者をも増やす必要があると思われる。

- (8) 地域福祉部関係のデイサービスセンターは、学園の移転新築に伴う移転に向けて体制を立て直しつつあるが、やはりリハビリや食事の提供など独自の付加価値を発掘して利用者増に取り組んでいただきたい。なお、引き続き職員の確保・介護力アップにも積極的に取り組んでいただきたい。また、老人居宅介護事業の在宅ホームヘルプサービスや訪問看護事業の看護ステーションはそれぞれ競合の激しい分野であるが、望みの門の伝統と新しいスキルをも発揮して、今後とも地域福祉の重要な一翼を担っていただきたい。なお、中核地域生活支援センター君津ふくしネットと富津地区地域包括センターとは、新型コロナウイルスの影響で増加しつつある生活困窮者の自立支援等に、それぞれの地域との連携を深めつつ、積極的に取り組んでいただきたい。
- (9) 住宅型有料老人ホームの望みの門ハイムについては、入居者定員11名に対して8名前後の利用者が続いており、何とか利用者増のためにさまざまなPR活動を進めると共に、重点計画に挙げられている「今後の総合的事業展開」の検討をぜひ前向きに進めていただきたい。